

2017 年 10 月 10 日

JPCOAR スキーマへの移行と対応について

1. JPCOAR スキーマ対応の IRDB(以下、新 IRDB)の開発について

(1) 新 IRDB の概要

- ・ 新 IRDB では、内部スキーマを JPCOAR スキーマに統合します。データ格納時に junii2 から JPCOAR スキーマの変換を実施します。出力は JPCOAR スキーマでの出力に加え、JPCOAR スキーマから junii2 に変換した上で junii2 での出力を行います。
- ・ ハーベストは、junii2 と JPCOAR スキーマの双方に対応します。
- ・ 図書館業務担当者に向けた機能を実装し、ハーベストされたデータを IRDB 上で確認し、JPCOAR スキーマでの格納状況等を確認できるようになります。

(2) スケジュール (予定)

- ・ 2017 年度：新 IRDB の開発
 - ・ 2018 年度前半：データ提供機関に対する全件ハーベストと移行テスト
 - ・ 2018 年度後半：JPCOAR スキーマでのハーベスト開始
- ※ 2017 年 9 月 20 日時点での予定ですので変更の可能性があります。現行の IRDB から新 IRDB への移行に関する最新の情報については、IRDB のメーリングリストなどを通じてご連絡します。

2. JAIRO Cloud の JPCOAR スキーマ対応予定

- ・ JAIRO Cloud の JPCOAR スキーマ対応については、2019 年 4 月以降を予定しています。

3. 当面の各機関の対応について

- ・ 新 IRDB では、データ格納時に junii2 から JPCOAR スキーマの変換を実施します。そのため、自機関のリポジトリに登録されているメタデータが junii2 に正しくマッピングされ、OAI-PMH で出力されていることを改めて確認してください。

参考：メタデータフォーマット junii2(バージョン 3.1)各データ要素の入力内容一覧

https://www.nii.ac.jp/irp/archive/system/pdf/junii2_elements_guide_ver3.1.pdf

4. 参考

- ・ junii2 と JPCOAR スキーマの対応関係のマッピングについては、資料 3 (定義ドキュメント<JPCOAR 項目一覧>) を参照してください。